

平成25年度 行政評価 施策カルテ

施策名	2 中小企業の経営・技術革新の促進
-----	-------------------

施策主管課	商工振興課	総合計画記載頁	117ページ
-------	-------	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	IV 市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために	政策名 (基本施策名)	18 商工業の活力を高める	政策の達成目標 (基本施策目標)	社会経済環境の変化に柔軟に対応し、「ひと」、「もの」、「情報」等が活発に行き交い、地域経済が活性化しています。
------	----------------------------------	----------------	---------------	---------------------	---

2 施策の取組状況

施策目標	中小企業が、絶えず技術の革新、経営の合理化などを進め、持続的に成長しています。
------	---

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 中核市等との水準比較	指標名(単位)		H24 (H23.3現在)	H25	H26	H27	H28	H29	評価		
	指標1	高度化設備設置補助制度を活用した企業数(社)	単年度目標値	25	28	32	35	40			45	A	指標2	従業者規模4~299人製造業の1製造業事業所あたりの製造品出荷額(百万円)	中核市平均	629.6					
	現状値	25社	実績値	30						実績値	1,006.2										
	目標値(H29)	45社	単年度の達成度	120.0%						中核市での本市の順位	5位/41市中										
① 施策指標			単年度目標値							③ 市民意識調査結果	施策の満足度(%)	調査結果	H24(現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価		
		現状値	実績値																		
		目標値(H29)	単年度の達成度											目標値(H29)	24.0%	前年度からの増減					

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 増進型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{単年度目標値}} \times 100 (\%)$
★ 減退型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{単年度目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$

※評価の考え方

施策指標	A: 達成度90%以上 B: 達成度70%~90%未満 C: 達成度70%未満
中核市等との水準比較(中核市での本市の順位)	A: 上位1/3(1~14位) B: 中位(15~28位) C: 下位1/3(29位以下)
市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上(2%超) B: 前年度同水準(±2%以内) C: 前年度より低下(−2%未満)

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策指標	長引くデフレや海外企業との競争の激化など、厳しい経済環境が続く中、景気の回復傾向とあわせ、高度化設備設置補助制度を活用し、新たな販路拡大に向け、積極的に技術革新に取り組む企業数が増加するなど、社会経済環境の変化に迅速かつ柔軟に対応する企業の動きが見られる。	市民満足度		進捗の状況	順調
------	--	-------	--	-------	----

3 施策を構成する事業の状況

No.	事業名	戦略P・主要事業	事業が属する総合計画の構成事業名	事業内容		開始年度	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物（誰・何に）	取組（何を）		
1	中小企業高度化設備設置補助金	○	設備高度化の促進	市内中小企業（製造業者）	機械設備取得費の一部を補助	H18	中小企業が、時代の潮流の変化に的確に対応し、持続的に発展していくため、技術の高度化・合理化を促進し、高度技術開発の促進を引き続き支援していく。 また、より効果的な支援策にするため、中小企業のニーズを正確に把握しながら、制度の見直しを検討していく。
2	特許権等取得促進事業補助金	○	知的所有権の取得促進	産業財産権を出願した市内中小企業	特許権等取得に係る経費の一部補助	H17	中小企業が、継続的に成長していくために、産業財産権の出願意欲を喚起させ、企業が持つ技術の保全や、製品・サービス及び技術の開発を促進することで、企業技術の維持・存続を進めるとともに、企業の付加価値や競争力を高めるための支援を継続する。
3	発明相談事業負担金	○	発明、研究開発意欲の高揚	市内中小企業	弁理士による発明相談	H20	中小企業が、絶えず技術の革新、経営合理化を進め、継続的に成長していくために、独自の商品開発などの発明意欲の高揚を図るとともに、知的所有権の取得も支援することで、より付加価値の高い製品の開発を促進する。
4	CSR推進事業		企業と地域社会との連携促進	市内全企業	市民、企業に対するCSR活動の普及・啓発	H19	新規及び更新認証企業の確保のため、認証制度における優遇制度の運用のあり方の再整理や、外部委員の意見等を踏まえたフォーラム等開催することで、認証事業（CSR活動）の普及啓発を進め、市民・企業の理解を深め、意識の向上を図る。
5	宮のものづくり達人事業		ものづくり達人制度の活用促進	企業・地域・学校等	宮のものづくり達人の認定及び派遣	H14	新規達人募集認定基準を再検討するとともに、企業、学校、地域等での利用者の拡大のためパンフレット配布先を再検討する。
6	伝統工芸品産業振興事業補助金	○	伝統産業の振興	宇都宮市伝統工芸品産業振興推進協議会	伝統工芸品展開催費の一部補助	H11	より多くの市民に伝統工芸品展に足を運んでもらえるよう、開催会場や周知方法を再検討する。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
課題	<p>◆経済のグローバル化が進み、海外企業との競争が激化するなど、中小企業においては更なる体力強化が重要課題であり、回復傾向にはあるが、依然、景気が先行き不透明である中、中小企業の技術革新・経営合理化への意欲を喚起するような支援策が必要である。</p> <p>◆国内企業の海外進出が活発化する中、本市既存企業においても、国外はもとより、市外への流出防止が課題であり、市内での操業維持に向けた支援策が必要である。</p> <p>◆生活・文化に密着した伝統工芸産業については、技術者の高齢化、若年世代の関心の希薄化が進み、技術継承が喫緊の課題である。そのため、技術の保存や後継者育成に向けた支援のあり方について、検討を進める必要がある。</p>
方向性	<p>〈施策全般〉 ◆景気が先行き不透明である中、中小企業の持続的な成長を支えるとともに、市内での操業維持のため、経営・技術革新の促進を支援し、企業ニーズを踏まえた中で、有効な手法や事業PRの検討を進める。また、地域や暮らしに根付いた技能・技術を保存・継承し、後継者育成や販路拡大への支援を行う。</p> <p>〈主要事業〉 ◆中小企業高度化設備設置補助金については、市内中小企業とりわけ小規模事業所においては、厳しい経済状況下でも顧客ニーズへの対応が必至であり、新たな設備投資を支援する同補助金の充実を図り、本市産業基盤を支える中小企業の事業存続や市外への流出防止に取り組んでいく。 ◆特許権等取得促進事業補助金及び発明相談事業補助金については、企業が持つ独自の技術や商品の付加価値を高める産業財産権の取得を喚起し、企業の競争力を高めるため、当該制度の周知強化を図るとともに、適切な制度内容について検討を行う。 ◆伝統工芸品産業振興事業補助金については、伝統工芸品に対する理解と親しみを深め、後継者育成や販路拡大の機会を増やすため、伝統工芸品展の開催手法の見直しやパンフレット・DVD等の積極的な活用を図る。</p>